

第26回全国高等学校少林寺拳法選抜大会実施時における 新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

第26回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 実行委員会

標記大会の新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関して、下記の通り、基本方針を連絡しますので、参加者は必ず確認のうえ、遵守するよう強く要請します。

また、この基本方針は、今後の社会状況を観察しつつ、都度、必要な方針・変更等を示し、更新される場合がありますので、本文書に連なる通達については、その都度、必ずご確認ください。

なお、すでに大会実施要項や申し合わせ事項などで告知されている内容であっても、本文書及び本文書に連なる通達に記載の内容が優先されることとします。

記

1. 大会会場への入場制限及び日程等について

- (1) 大会委員（実行委員会役員・審判員・運営補助員）、選手、引率責任者（1名）のみ入場可能とし、原則として無観客で行うものとする。なお、出場選手及び引率責任者を除き、各校2名までの同伴者（指導者/保護者/生徒）の入場を認める。

※学校の方針により、上記原則に基づく対応が難しい出場校は、3月6日（月）正午までに、大会事務局へメールにて連絡すること。

（大会事務局 E-Mail:renmei.taikai-jimukyoku@shorinjikempo.or.jp）

※引率責任者とは、大会実施要項「1.3. 引率 ①②」に記載されている内容に該当する者とする。

- (2) 各日の日程については次の通りとする。

■ 3月24日（金）

- ①大会会場サブアリーナに、出場校ごとの「大会プログラム・領収書・記念品（出場選手分）」が入った袋を置いておくので、引率責任者が1名（数が多い場合は最小人数）でそれを受け取ることで、出場校受付とする。
- ②感染拡大防止の観点から、公開練習は行わない。
- ③開会式及び各種会議（代表者会議及び引率責任者会議）は、大会実施要項「2.0. 大会日程」の通り実施する。

ただし、引率責任者会議は、事前のオンライン型(ZOOM※)と当日の対面型の2方式で実施する。(原則として、オンライン型、対面型の両方に出席すること。)

※オンライン会議は、以下の日程で行う。

(i) 3月6日(月) 16時～17時（北海道、東北、関東、北信越地区）

(ii) 3月7日(火) 16時～17時（東海、近畿、中国、四国、九州地区）

- ・オンライン会議(ZOOM)の日程は後日通知をする。
- ・オンライン会議(ZOOM)のURLは、会議実施日数日前に引率責任者へメールにて案内する。
- ・日程上、当該地区への出席が難しい場合は、他地区への参加を可とする。
- ・両日ともに出席できない場合は、必ず都道府県代表者へ問合せの上、内容の確認を行うこと。

■ 3月25日（土）

- ①審判会議及び予選競技は、大会実施要項「20. 大会日程」の通り実施する。
- ②予選通過者の発表は、19時頃に全国高体連少林寺拳法専門部 HP にて行う。

■ 3月26日（日）

- ①審判員会議、競技及び閉会式は、大会実施要項「20. 大会日程」の通り実施する。
- ②決勝競技に出場しない選手の、2階観客席での観覧を認める。
- ③閉会式前の技術研修は実施しない。
- ④閉会式は、出場選手全員をアリーナに下して行う。

2. マスクの着用や競技参加について

- (1) 大会委員（実行委員会役員・審判員・運営補助員）、選手、引率責任者、同伴者は、原則として終日（出発地から開催地への移動時及び宿泊先から大会会場への移動時を含む）『不織布のマスク』を着用することとする。
ただし、次の者を除く。
 - ・競技中（競技中、弁論の発表中）の選手
 - ・表彰式における受賞者及び授与者
- (2) 選手のマスク等着用の有無と招集から競技までの流れについては、次の通りとする。
 - ①会場館内の移動については、原則として室内履きを着用することとする。
ただし、招集場所には素足で集合すること。
 - ②招集場所には、マスクを一時保管できるビニール袋等を持参する。
 - ③招集場所では、常時マスクを着用する。
 - ④招集場所でのウォーミングアップについては、次の点に留意する。
 - ア ウォーミングアップを行えるのは、直後に競技がある種目に出場する選手に限る。
 - イ マスクを着用し、周囲との接触を避けて行う。
 - ウ 演武修練を伴うウォーミングアップを行う際の、有声の気合は不可とする。
 - エ 招集場所の状況に応じて、演武修練を伴うウォーミングアップは禁止する場合がある。
 - ⑤招集場所で点呼を受ける際は、返事をするのではなく手を挙げる。
 - ⑥アリーナへの入場から競技終了（退場）までは、次の手順で行う。
 - ア 入退場は、マスクを着用したまま、前の選手との間隔を保って行う。
 - イ 正面及び審判員に礼を行う際には発声しない。（退場時も同様とする。）
 - ウ 選手待機場所での待機中もマスクを着用する。
 - エ 順番がきたらネクストコーナー（次演武者待機場所）へ移動し、マスクを外してウォーミングアップを行う。その際、手指及び膝から下（主に足底）の消毒を行う。（実行委員会で用意した消毒薬と紙製タオルを使用し、発生したゴミはネクストコーナーに設置されたゴミ袋へ捨てること。）
なお、外したマスクについては、一時保管用のビニール袋等に入れ、ネクストコーナーの荷物入れに置く。
 - オ 呼び出し係に名前（団体演武は学校名）を呼ばれた際は、返事をするのではなく手を挙げる。
団体演武については、代表者1名が手を挙げる。
 - カ 演武を行う際には、有声の気合を出してよい。
 - キ 演武終了後は、コートから速やかに退場し、手指及び膝から下の消毒を行い、マスクを着用して、全ての演武が終了するまで待機する。
 - ク 予選・決勝とも、全体アナウンスに従いアリーナから退場する。
 - ⑦注意事項
 - ア ネクストコーナーの荷物入れは共用となるため、必ずマスクの一時保管用のビニール袋等を各自が用意すること。また、記名をするなどして、チーム内、選手同士で間違えて着用しないように注意すること。
 - イ 招集場所には、原則として出場選手のみ入場可とする。
ただし、競技役員を除く。
- (3) アリーナ内や観客席からの、有声での声援は禁止する。

3. 手洗い・うがい・消毒の徹底、宿泊施設内及び移動時について

- (1) 競技前後、宿泊施設内での食事前等、こまめに手洗い・うがいを行うこと。
- (2) 手指の消毒だけでなく、出場選手はこまめに足底の消毒も行うこと。
- (3) 実行委員会にて消毒薬などの準備は行うが、大会会場内外で各自が使用できる消毒薬を持参し、各所で使用すること。
- (4) 宿泊施設では、行政及び施設の示すガイドラインに基づき、安全管理に努めること。
- (5) 大会会場への移動については、周囲との接触を可能な範囲で避けること。
(公共交通機関を使用する場合は、混雑する時間帯を避ける、または公共交通機関以外の移動方法を検討する等)
- (6) 会場の更衣室が手狭なため、出場選手は、可能な限りホテル出発時から道衣に着替えて来場すること。ただし、地域市民への迷惑にならないように、上下のジャージ等を着用し、道衣のままでの移動は控えること。(帯も見えないようにすること。)

4. 関係者の検温記録・行動記録等の記入・提出と ID の発行について

- (1) 大会参加者及び大会委員（実行委員会役員・審判員・運営補助員）すべてに、次の通り検温及び健康観察を義務付ける。
 - ①参加各人は、大会参加までの2週間及び当日の検温記録等を健康観察チェックシート【様式1】に記載入する。
なお、【様式1】は必要に応じて提出してもらう場合がある。
 - ②引率責任者は、選手及び同伴者の【様式1】の内容を各日確認し、健康観察チェックシート提出用紙【様式2-1】【様式2-2】【様式2-3】に必要事項を記入の上、大会実行委員会へ提出する。
 - ③大会委員は、【様式1】を記載の上、会場にて各部門の責任者の確認を受ける。
- (2) 大会参加者及び大会委員すべてに、大会参加までの2週間の行動について、行動記録シート【様式3】の記入を義務付ける。なお、【様式3】は、必要に応じて提出してもらう場合がある。
- (3) 選手及び同伴者（生徒）には、【様式4】の署名を義務付ける。署名後、引率責任者が事前に集約のうえ、大会期間中は携行。その後1か月間、保管する。
- (4) 提出された関係文書に記載された内容は、保健所、医療関係者や開催地行政関係者へ情報提供する場合がある。
- (5) 引率責任者及び同伴者には、大会会場への入場を許可するIDを発行する。(IDを所持していない者の大会会場への立ち入りは禁止する。) ※引率責任者、同伴者へのID送付は現在調整中。

5. 大会会場の清掃・消毒及び密集・密接の回避について

- (1) アリーナの定期的な消毒を施す。また会場内の各所（廊下、トイレ、ドアノブ、テーブル、イス等）についても定期的に清掃・消毒を実施する。
- (2) 主審席、副審席はコートから1mの間隔を空けて、設置する。
- (3) 観客席及び選手待機場所において密集・密接が生じないように注意し、必要に応じて大会関係者より指導・助言を行う。また、感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事

項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に掲示する。

(4) 観覧席は、地区別に指定区域を設ける。(席図は後日通知)

①指定区域以外での着席は不可。

②原則、観覧席では着席をすることとし、通路での立ち見は禁止する。

【特記事項】

大会期間中、参加者に感染を含む関係事実が生じた場合は、ただちに実行委員会に報告の上、その判断を仰ぐこと。

6. 本文書に関する問い合わせ

- (一財)少林寺拳法連盟 第26回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 事務局
〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通 3-1-59
TEL : 0877-33-2020 FAX : 0877-56-6022
Mail: renmei.taikai-jimukyoku@shorinjikempo.or.jp
- (公財)全国高等学校体育連盟少林寺拳法専門部 事務局長 岡澤 義晃
〒611-0013 京都府宇治市菟道大垣内 33-10 京都翔英高校
TEL : 0774-23-2238 FAX : 0774-23-9088 Mobile : 090-9695-2545
Mail: yoshiaki-okazawa@kyoto-shoei.ac.jp

以 上